



あおい

2025

郡山市立守山小学校
令和7年6月26日
学校だより No. 13

痛ましい事件を風化させない

— 附属池田小事件から24年 —

不審な人物が危険なものを持って学校にあらわれる、という想定で6月24日(火)の3校時に防犯教室を行いました。職員は武道の達人ではないので、できることといえば「時間稼ぎ」です。

教頭先生が丁寧に丁寧に対応することを心がけ、まずは「援軍」が来るまで引き延ばします。秘密の言葉により職員には「玄関に不審者が来た」と伝達され、男子職員はさすまたを持って駆けつけます。連絡係は警察に通報します。同学年の職員は、教室に侵入されないように入出口や窓を施錠したりバリケードをつくったりします。警察官がやってきて安全が確保されたら、校庭や体育館に避難します。



今回は、疑似訓練なので落ち着いて行動できますが、本物の危険物を持った不審者に出会ったら…と思うだけでもゾッとします(そういう方々はこちらのお話を聞いてくれないし、危険なものを振り回す傾向だと聞きます)。

【附属池田小事件とは… 2001年6月8日に発生した無差別殺傷事件】

Aは附属池田小学校東門の前に車を止め、約100メートル離れた南校舎へ向かい、午前10時10分過ぎ、1階にある2年生の3教室に次々と侵入し犯行に及んだ。Aはまず窓から廊下を横切って2年南組に侵入し、中にいた児童5人を刺殺。続いて西組に侵入して2人を殺害し、さらに東組で2人を切りつけた。2年東組担任と1年南組担任がAを追いかけて、1年南組担任はAの振り回した包丁で背中を刺されている。午前10時20分、1年南組の児童たちは音楽室から戻ってきたところ、一足早く教室に戻った男児Bが刺され犠牲となった。Aは他の児童にも次々と切りつけた。

騒ぎを聞いて駆けつけた副校長と2年南組担任がAと格闘になり、2年南組担任は、包丁を持った手を押さえようとして顔を切られた。2人に手を押さえられるとAはおとなしくなり、2人により取り押さえられた。15分の犯行の間、Aは終始無言だった。

最終的には児童8名(1年生1名、2年生7名)が殺害され、児童13名・教諭2名が傷害を負った。